

—中山間地域等を元気にするため
多様な取組を後押しします—

中山間地農業ルネッサンス事業 ～取組事例集～

ver.1.1

令和8年3月
農林水産省

※令和5年4月に作成した取組事例集を抜粋して更新したものです。

目 次

地域名	事 例	中山間地農業 ルネッサンス推進支援	元気な地域創出モデル支援						主な取組内容									頁	
			高収益作物の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口の増加	ICT技術の活用	棚田地域の振興	複合経営・半農半X	担い手育成	農地集積	高収益作物	加工・販売	観光・交流	定住促進	外部人材確保	鳥獣害対策	荒廃農地対策		省力化
岩手県 県南地域	地域リーダー育成等による交流人口拡大に向けた受入体制の高度化	○							○				○		○				1
宮城県 仙台地域	技術指導による新たな生産者の育成や都市住民との交流による所得向上の推進	○	○	○					○		○	○					○		2
宮城県 大崎地域	雑草抑制技術の確立による有機米生産の省力化・収量増・生産拡大の実現			○					○									○	3
秋田県 鹿角地域	地域特産野菜「鹿角松館しぼり大根」の生産活動を通じた地域の活性化について	○								○	○	○				○			4
山形県 置賜地域	美しい自然環境など地域資源を活かした観光コンテンツ開発と農都交流事業のさらなる充実	○											○						5
福島県	地域外人材の活用による地域活性化・営農活動継続・担い手の育成確保	○			○				○				○		○				6
千葉県	地域リーダーの育成による持続可能な中山間地域づくり	○										○				○			7
新潟県 上越地域	農業者の意識醸成による農産物等の付加価値向上・販売促進	○										○							8

地域リーダー育成等による交流人口拡大に向けた受入体制の高度化

けんなん はなまきし きたかみし とおのし いちのせきし おうしゅうし にしわがまち かながさきちよう ひらいずみちよう
【岩手県県南地域】（花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

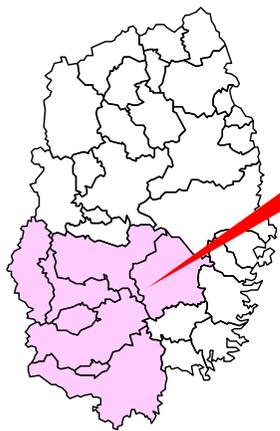
【地域の現状・課題】

- 中山間地域では、高齢化や人口減少の進行により、農業生産活動はもとより、農村の集落機能や地域活力の急激な低下が懸念されている。
- 中山間地域の活性化を図るため、各地域におけるビジョン作成やビジョンの実現に向けた実践活動への支援、地域をけん引するリーダーの育成が必要である。
- 個人旅行者やインバウンドなど、多様化するグリーン・ツーリズムに対応できる受入体制を整備し、都市と農村の交流人口の拡大を図っていく必要がある。

【地域の位置】

【岩手県県南地域】

[指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎、指定棚田、
農林統計上の中山間地域]
※金ケ崎町を除く



県南地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域ビジョンの作成支援と交流人口の拡大に向けた取組支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 県庁及び現地機関で設置した支援チームが各地域におけるビジョン作成とビジョンの実現に向けた実践活動を支援。
- 各地域におけるビジョン作成や実践活動をけん引する地域のリーダーを育成するため、集落代表者等を対象とした研修会を開催。
- 中山間地域における交流人口の拡大に向け、体験型の教育旅行や企業研修の誘致のためのPRパンフレットを作成。



地域リーダー育成研修

取組を高度化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

交流人口の拡大に向けた人材育成と受入体制の高度化

- スキルアップ研修会等により、グリーン・ツーリズム等による交流人口拡大の取組を担う人材を育成。
- 外国人旅行者やキャッシュレス決済等への対応に向けた機器導入による農泊推進団体等の受入体制の高度化を推進。



スキルアップ研修会

【農山漁村振興交付金（農泊推進対策）】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

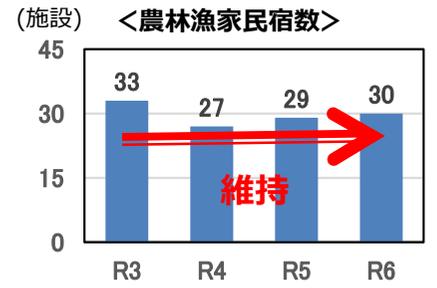
地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農地等の保全管理の推進など、地域を下支えする共同活動を支援。
 【多面的機能支払交付金（支援事業）】
 【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

事業の効果

農林漁家民宿数の維持

- 地域の農泊推進団体等の活動の継続（教育旅行や個人旅行の受入れ）により、農林漁家民宿数は横ばいを維持。

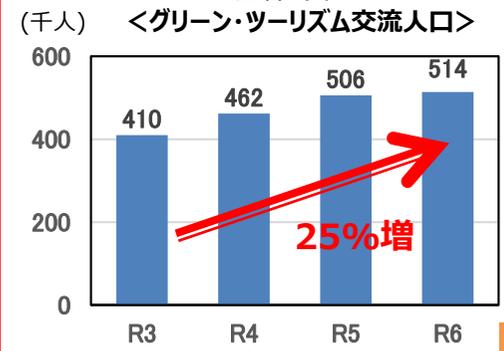


グリーン・ツーリズム交流人口の拡大

- 県南地域のグリーン・ツーリズム交流人口は、コロナ禍で減少したものの、近年は回復傾向。



農泊の受入れ



技術指導による新たな生産者の育成や都市住民との交流による所得向上の推進

せんだい まつしまち
【宮城県仙台地域】（松島町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 松島町の農業は、水稻単作が中心であり、生産調整した水田での大豆生産や、多種多様な野菜の生産も行われている。
- 高齢化による離農や後継者不足により、耕作放棄地が増加しており、地域資源の管理体制を含め担い手の確保・育成が必要。
- 耕作放棄地や放置竹林の増加が、病害虫等による農作物の被害を招き、収益低下による生産者の意欲低下を懸念。
- 所得向上のため、農産物の高付加価値化や収益性の高い作物の導入が課題。

【地域の位置】

【宮城県】(松島町)

[指定地域： 過疎、農林統計上の中山間地域]



松島町

中山間地農業ルネッサンス推進事業

営農指導員による巡回指導及び加工品の試作

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 農業者の所得向上や担い手の育成に向け、営農指導員による桃・梨・イチジクの剪定・病害虫防除にかかる技術指導を実施。
- 栽培ごよみ（白菜、長ねぎ）を作成して、新たな生産者の育成を開始。



営農指導

【元気な地域創出モデル支援】

- 新たな特産品の創出による所得向上を目指し、農産物の加工品（タケノコ味付け煮）試作及びパッケージデザイン作成を実施。

生産者をさらに育成

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

都市住民と地域農家の交流による地域活性化

- 地域農家が耕作放棄地を活用して、都市住民の農作業体験や果樹収穫体験を実施し、地域農家との交流を推進することで、地域を活性化し、農家の生産意欲向上を図る。



都市住民と地域農家の交流（竹林整備交流会）

【町単独事業】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣被害対策の強化、地域資源の保全管理体制の強化・充実など、地域を下支えする取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金】等

事業の効果

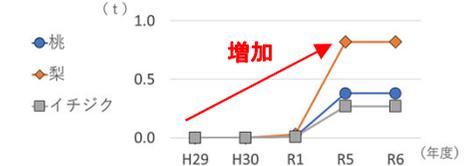
耕作放棄地を活用した高収益作物の生産

- 耕作放棄地を活用し、新たに果樹栽培（桃・梨・イチジク）を実施。

<果樹の栽培面積>



<果樹の収穫量>



桃

梨

イチジク

特産品の創出による所得向上

- 商品化へ向け、タケノコ味付け水煮を試作。直売所やスーパー等で、タケノコ加工品「水煮」を約3,000パック販売。商品化により、これまで廃棄等していた生産者にとっては、所得向上と販路拡大に繋がった。



タケノコ味付け煮の試作品

雑草抑制技術の確立による有機米生産の省力化・収量増・生産拡大の実現

おおさき かみまち
【宮城県大崎地域】（加美町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 加美町では、J A加美よつば有機米生産部会の生産者を中心に、長期に渡り有機米栽培に取り組んできたが、生産者がなかなか増えない状況。
- 有機米生産において、雑草対策が大きな課題。
- 雑草抑制の技術を確立することで、有機米生産に取り組む農業者の拡大を図る。

【地域の位置】

【宮城県大崎地域】（加美町）

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、農林統計情の中山間地域]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

深水管理を数値で明確化することで管理技術を確立

【元気な地域創出モデル支援】

- J A加美よつば有機米生産部会が生産している町内の有機米の生産ほ場3ヶ所（約90 a）において、約60日間の土壌の還元電位（Eh）を測定し、その数値による深水管理、雑草抑制の実証を行った。



実証を行ったほ場

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

実証データを蓄積し、有機米生産者の拡大促進

- 令和3年度に雑草対策の実証試験を実施した結果、新たに農業者10名が有機米の生産に興味を示し、有機農業の生産拡大を牽引し得る人材は30名となった。
- 令和4年度に実証データを活用して技術普及に努めた結果、有機米の生産に関心をもつ農業者を新たに1名追加。
- 令和5年度に栽培マニュアルを作成し、生産者に対し栽培方法を提示することで、効果的な生産の一助となった。



実証実験の状況



生産された有機米

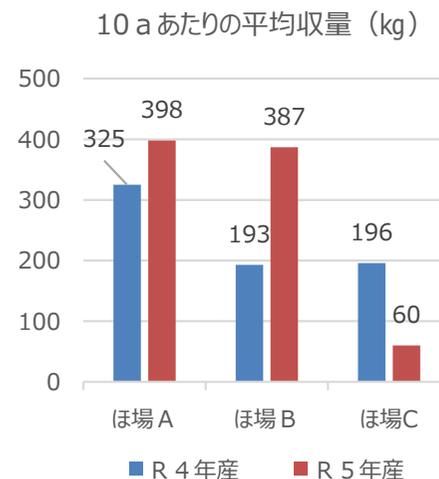


有機農産物の表示

事業の効果

雑草の発生抑制の実現と収量が増加

- Ehが-200mvとなるように深水管理を行ったところ、例年と比べ雑草の発生抑制に効果があった。特に、初期の深水管理が雑草抑制に重要であることがわかった。
- 実証の結果、深水管理を数値化することで、雑草抑制に繋がり、収量が増加した。
- 除草作業の回数を例年3回行うところ、1～2回に減らすことができ、労力の低減に繋がった。
- 2つの実証ほ場で、収量が約1.2～2倍に増加した。
- 1つの実証ほ場で、収量が減少した理由は、雑草の多発が影響したものと推察される。



地域特産野菜「鹿角松館しぼり大根」の生産活動を通じた地域の活性化について

かつの かつし こさかまち
【秋田県鹿角地域】（鹿角市、小坂町）

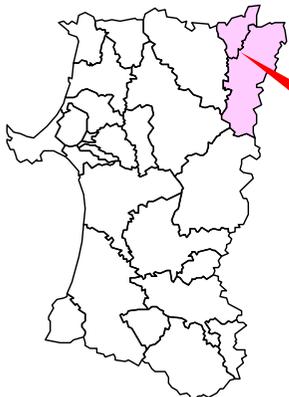
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践

【地域の現状・課題】

- 鹿角地域は、秋田県の北東端にあり、青森・岩手・秋田3県のほぼ中央に位置している。山岳丘陵地帯に盆地が形成され、低地を流れる米代川を中心とした流域に耕地が拓けている。
- 典型的な内陸性気候で、畜産が盛んである他、夏季の冷涼な気象を活かして、野菜や果樹の複合化が進められている。
鹿角市の耕地面積の田の割合：73.8%(R2)
鹿角市の米の産出額：2,570百万円(R2)
- 世界農林業センサス2020において、農業経営体数及び農業就業人口が減少しており、高齢化が進行している。そのため、新規就農者の確保、生産力の維持が重要な課題である。
鹿角市65歳以上の農業従事者率：66% (R2)

【地域の位置】

秋田県鹿角地域（鹿角市、小坂町）
 （指定地域：過疎、振興山村、特定農山村）



鹿角地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

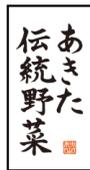
生産者・自治体参加型の業務加工用商談会や県内販売促進活動

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 生産者・自治体参加型の業務加工用商談会や県内の販売促進活動にG I 認定を受けたことを機に、「あきた伝統野菜ブランド」として、他の地域の特産品と合同で、県内外でP R活動を展開し、更なる認知度向上を図るとともに、実需者の意向を把握し、販売促進活動を推進。



【松館しぼり大根】



【あきた伝統野菜に認定】



【百貨店であきたフェアに出店】

生産・販売

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

大区画ほ場整備による、生産基盤の確立

- 大区画ほ場整備等により生産基盤を改善し、農地中間管理機構を通じて担い手への農地集積・集約化を進め、地域特産の高収益作物の導入による農業所得の向上を図る。【農業競争力強化農地整備事業】



【鹿角市十和田ほ場整備】



【鹿角市十和田メカ団地】

地域を下支え

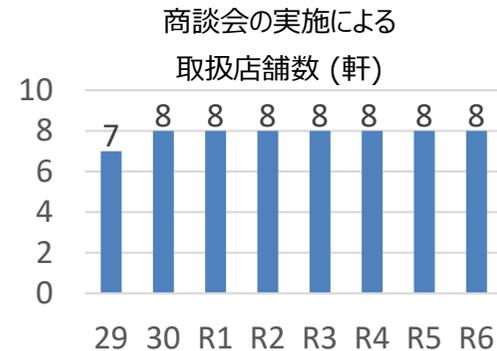
地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域の共同活動による農地保全管理の推進

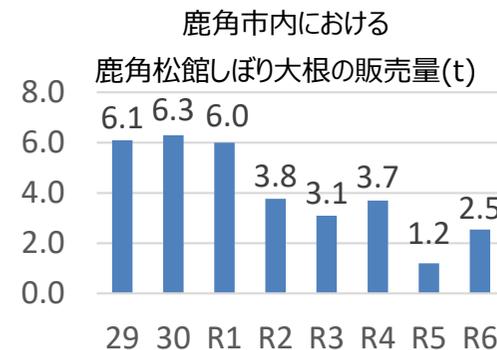
- 地域資源の保全管理体制の強化・充実、鳥獣被害防止対策の推進など、地域を下支えする取組を展開
 【多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

商談会の実施による取扱店舗数の維持及び販売量の増加



H30以降は、取扱店舗数が維持されていることから、一定の認知度及び需要があると考えられる。



R2からR3並びにR5は、災害や天候不順の頻発により、収穫量が大きく減少したものの、R4の当該地区のほ場整備完了による条件整備の効果により、R6は前年度に比較して収穫量の持ち直しの傾向となっている。

美しい自然環境など地域資源を活かした観光コンテンツ開発と農都交流事業のさらなる充実

おきたま
【山形県置賜地域】
いいまち
【飯豊町】

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値化
・販売力強化

関係人口
の増加

元気な地域創出モデル支援
ICT技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

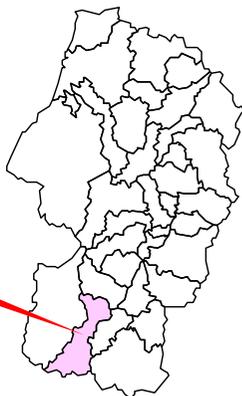
【地域の現状・課題】

- 飯豊町は、町の全域が中山間地域であり、美しい農山村の景観や自然環境が魅力。「日本で最も美しい村」連合に加盟。
- 全国的な少子高齢化の動向に加え、都市部への人口流出も伴い、人口減少が急速に進行。
農山村の景観・自然環境、受け継がれてきた伝統文化、さらには、地域コミュニティの維持も困難になりつつある。
- 地域の担い手を確保しながら、地域資源を活かして、美しい景観や豊かな農山村地域の維持・保全が必要。
- 地域の魅力を再発見し、多様な資源を活用することで、特産品や体験型観光等の充実を図ることが必要。また、研修等により町内宿泊・観光施設の品質向上を図り、都市農村交流のさらなる充実を目指す。

【地域の位置】

【山形県西置賜郡飯豊町】

(指定地域：過疎、振興山村、特定農山村、特別豪雪地帯)



飯豊町

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源の魅力再発見・都市農村交流の促進

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 町内の観光施設の品質向上、またグリーンツーリズム促進を目的とする研修会及び講習会等の開催

【元気な地域創出モデル支援】

- 温泉施設・物産館に壁面パネル設置、中津川地区内の誘導看板の設置、「中津川ジオサイト」ホームページの作成



飯豊町中津川地区

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

農都交流事業の実施・体験コンテンツ開発等による地域活性化

- 国立大学法人東京外国語大学と相互協力協定を締結し、「スタディツアー」を実施(H30～) R5からは東京外国語大学の大学祭で、スタディツアー参加の学生による町産品の販売会、飯豊町のPRを実施。
- 町産品の魅力や農業者を中心とした事業者の魅力を発信するため、イベント「いいで熱鍋まつり」の開催。(H30～)



大学祭での展示・販売



いいで熱鍋まつり

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

グリーンツーリズムの促進及び支援

- 農産物等の販促事業のイベントやアンテナショップを活用した交流事業等の開催を実施する団体へ、町から支援 (H31～)

【めざみの里グリーンツーリズム推進協議会補助金】



高門寺(東京都)交流事業

事業の効果

体験コンテンツ創出・関係人口の増加

- 東京外国語大学スタディツアーの継続受入により、関係人口が増加



スタディツアー受入風景

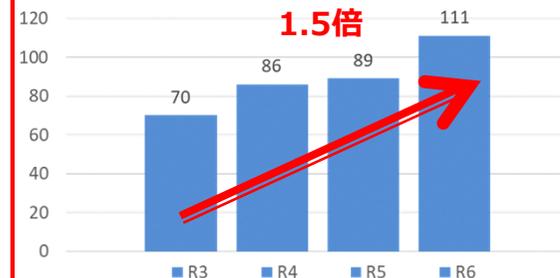
⇒ 毎年7～15名程度を受入。大学生から地域に対する提案を受け取り、町産品を東京でPRしてもらう間柄に。

- 「いいで熱鍋まつり」の継続的な開催により、町産品や団体の認知度・露出度が向上し、提供数が増加。



いいで熱鍋まつり風景

〈熱鍋まつり1店舗当たり平均提供数〉



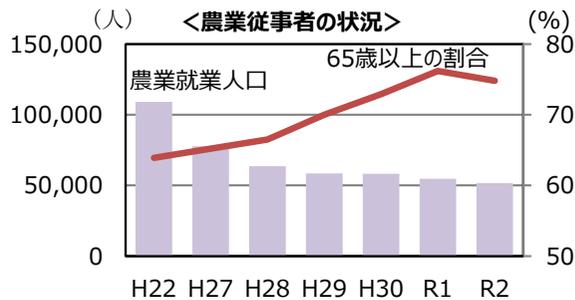
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

《農村地域における高齢化と後継者不足》

- 県の農業就業人口は10年前の約半数。
- 県の人口に占める65歳以上の割合は年々増加しており、中山間地の主要産業である農業従事者も高齢化が進行している。
(県の農業就業人口に占める65歳以上の割合
H22 : 63.9% → R2 : 74.8%
(全国平均 : 70.2%)

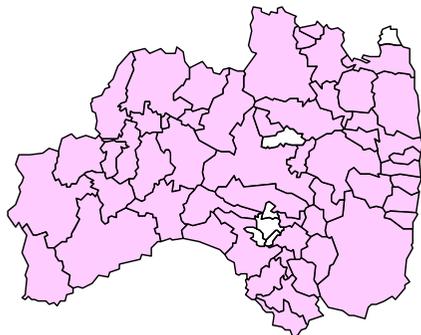
○ 農業の担い手確保や、農村の保全・地域活性化に向けた地域外人材の活用が必要。



【地域の位置】

【福島県】

[指定地域 : 特定農山村、振興山村、過疎、特別豪雪、指定棚田、農林統計の中山間]



※ 本宮市、鏡石町、泉崎村、中島村、矢吹町、新地町を除く53市町村

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域外人材との関係づくり、担い手育成・確保支援体制の確立

【元気な地域創出モデル支援】

- 本県の農村関係人口の現状・課題等を調査
- 首都圏在住者を対象に関わりづくりワークショップ(県内の取組紹介、グループ討論等)を東京都で開催
- 農村関係人口づくりに関する手引書の作成



地域内対話支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域内外の人材との連携による地域づくりに関する農村地域振興セミナーを開催
- 農村関係人口の活用に向けた支援
 - ・ コーディネーターを配置し、モデル地域における地域内の対話を促進し、地域の魅力発掘や課題解決を支援
 - ・ オンラインマッチングや交流会の開催
- 就農希望者、新規就農者向けの研修を開催



就農希望者向け研修会

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

地域外人材の受入の促進、担い手の育成・確保

- 作成した手引書を活用し、農村関係人口の活用に関する研修の開催や地域支援を行い、農村関係人口の創出・拡大に取り組む地区が増加。
- 具体的には、体験ツアー、田植えイベント、お試し移住等に取り組んでいる。
- 就農希望者や新規就農者向けの研修、就農相談対応、関係機関と連携した就農支援により、新規就農者が増加し、担い手の育成・確保が図られた。



農村関係人口づくりに関する手引書

事業の効果

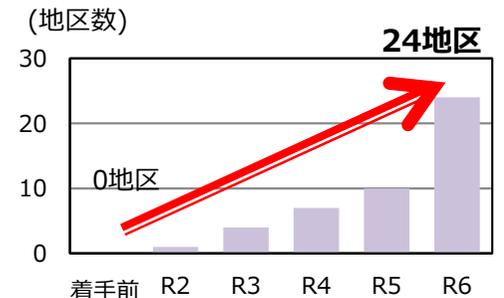
地域外人材の活用、新規就農者の増加

- 事業を通して、農村関係人口を活用した取組(草刈り、農作業の手伝い等)を行う地区数が増加



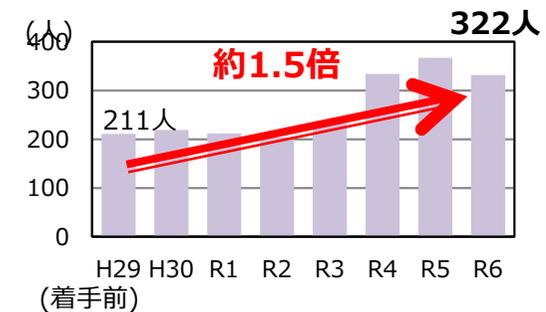
刈り払い作業の手伝い

<農村関係人口活用の取組地区数(累計)>



- 新規就農者数は、R4年度以降は300人/年を超える状況が続いている

<年次別の新規就農者数>



【地域の現状・課題】

- 千葉県は温暖な気候と首都圏に位置する恵まれた立地条件、さらに農業者の高い技術と意欲に支えられる農業県である。
- 県では、令和7年度現在で24市町（一部指定を含む）が5法指定地域等の中山間地域等となっている。
- 令和2年の基幹的農業従事者数は43%減少、そのうち65歳以上が占める割合は15%増加しており、中山間地域においてはこの傾向が顕著となっている。
【基幹的農業従事者数】 43%減少
 平成17年：88,218人→令和2年：50,238人
【基幹的農業従事者のうち65歳以上が占める割合】 15%増加
 平成17年：52% → 令和2年：67%
- これらの状況を踏まえ、農山漁村の活性化に向けて、地域住民の活動を指導する地域リーダーや地域資源の活用に係る取組が必要。

【地域の位置】

【千葉県】

〔指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島振興、指定棚田、農林統計上の中山間農業地域〕



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農村の地域資源を活用した中山間地域づくりフォーラム等を開催

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域資源を活用した中山間地域づくり情報交換会や鳥獣被害対策フォーラム等を開催し、中山間地域の持続的な発展のため、地域リーダーを育成

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

道の駅・直売施設を整備し、地域資源の魅力を発信

- 道の駅「木更津うまいたの里」や「保田小学校」などの交流拠点を整備し、農産物を直売することに加え、加工品・特産品の開発等の副次産業化に向けた取組を展開

【農山漁村振興交付金】



道の駅 木更津うまいたの里



道の駅 保田小学校

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した農地保全を推進
- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開



共同草刈の様子

事業の効果

持続可能な中山間地域づくりを実現

- 中山間地域における住民活動を指導する地域リーダーを育成



地域リーダーの育成研修

- 交流拠点を中心とした来訪者数、地域特産物・加工品の売上が増加

道の駅「木更津うまいたの里」
 R6 来訪者数：1,541千人 (R4年比 106%)
 R6 売上額：約12億円 (R4年比 109%)

道の駅「保田小学校」
 R6 来訪者数：905千人 (R4年比 114%)
 R6 売上額：約10億円 (R4年比 143%)

- 多面的機能の維持・発揮を図る共同取組活動面積の増（7,029ha増）



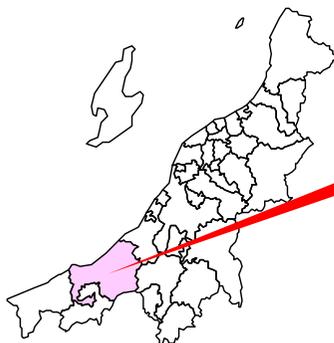
【地域の現状・課題】

- 農業産出額の大部分を米が占める中、近年の農業情勢により農業産出額が低下しており、経営体の所得に影響を与えている。
- 農業の基幹である米の品質・収量の安定確保を基本に、新たな収入源の確保に向けた園芸作物の導入など、経営体の所得向上が必要である。
- 地域活性化のため、地域資源を活用した特産品の発掘や6次産業化を推進するとともに、高付加価値化による販路拡大を推進するほか、グリーンツーリズムの更なる拡大に向けて、インバウンド向けなどの魅力的な商品開発を勧める必要がある。

【地域の位置】

【新潟県上越地域】(上越市)

(指定地域：特定農山村地域、振興山村、過疎地域、特別豪雪地帯、指定棚田)



上越地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

農産物の有利販売手法の知見を得る

- 中山間地域が生み出す農産物の収益性を高めるため、農業者自身が生産・販売に取り組む意識を醸成させ、農産物の有利販売に向けたマーケティング手法を学ぶ研修会を開催

〈取組概要〉

商品のブランド化支援に取り組んでいる専門家の講演会を開催
 テーマ：選ばれる逸品への方程式！おいしい農産物×□＝ブランド化の可能性
 内容：ブランディングの手法や考え方、スマート農業の展開や可能性

知見をふまえ取組を具現化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

市単事業による中山間地域農業者の販促活動を支援

- 中山間地域の農業者等に対し、農産物等の営業活動、販売促進活動等に係る営業経費の一部を補助

〈補助事例〉

- ・パンフレットや商品パッケージを作成し、商談会に出展
- ・インターネット販売やホームページで商品の周知等



都内での農産物販売のPR活動

【市単：農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

持続的生産に向けた農地等の維持を支援

- 集落内の草刈り、水路や農道の維持等の共同活動を行うことにより、担い手が継続的に農業に取り組めるよう下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

有利販売に向けた意識の醸成

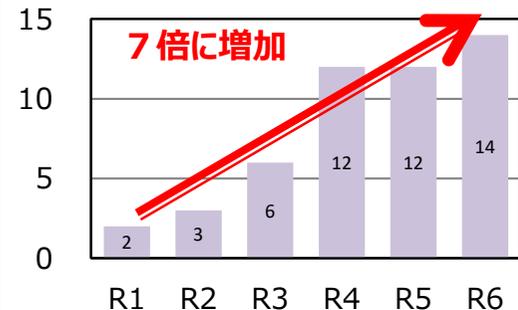
- 研修会を通じて、自主的な農産物等の販売活動や営農の省力化への意識が醸成され、意欲が向上。

その後の取組

- 市の支援事業により、引き続き農林水産物等の販売力強化に必要な経費の一部を支援（マーケティング研修会、販売促進イベントの開催等）。
- 米の商談会への出展参加、ホームページの作成、商品のラベル作成等、中山間地域の農産物等の付加価値の向上や販路拡大を実現。



雪国マルシェに出店し、地域の特産品を販売
 件数 <農業者が自ら取り組む販売活動の実施件数>



※市単事業「中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業補助金（H30～R3）」及び「農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金（R4～）」を活用

適切な排水対策の実施による新たな「にんじん」産地づくり

となみ なんとし ふくみつ
【富山県砺波地域】（南砺市福光地域）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

○多くの農地が暗渠未設置の水田であり、多くの経営体が主穀作中心で、園芸作物の栽培経験が浅いのが現状。



降雨後滞水したブロッコリーほ場

○機械化の一貫体系が確立された品目を導入した経営の複合化による経営基盤の強化が課題。

○持続的な産地形成を図るため、計画的な機械・施設の導入による栽培者・栽培面積の増加が課題。

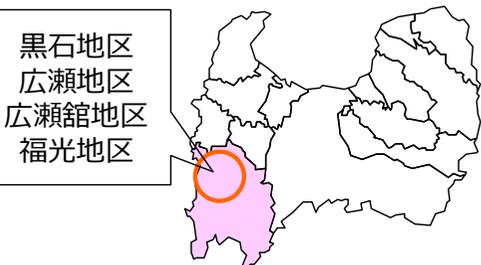
○地区内の農産物の高付加価値化や販路拡大による所得向上と地域の活性化が課題。

【地域の位置】

【富山県砺波地域】

（南砺市福光地域：石黒地区、広瀬地区、
 広瀬館地区、福光地区）

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、
 特別豪雪地域]

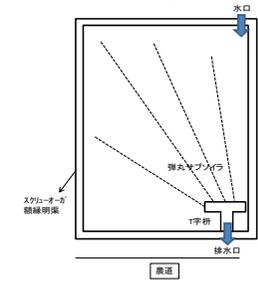


中山間地農業ルネッサンス推進事業

高収益作物の生産・販売力強化

【元気な地域創出モデル支援】

○条件の異なる各ほ場において、効果的な排水対策の実証。
 （作付面積 110a）



集水桝+弾丸暗渠+額縁明渠の施工図



降雨後の効果

○にんじんの出荷について、J A が中心となり、収穫機や出荷調製施設を利用した体制を整えるとともに、計画的な有利販売を実証。

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

栽培のマニュアル化による園芸作物の導入促進

○栽培や販売の実証を踏まえ、生産者の育成と販売額の増加を図るため、栽培マニュアルの作成、販売先を確保。

○実証結果を踏まえ、栽培条件に対応した排水路を整備。経営体の収益性向上を図るため、排水路を整備した地域において、「にんじん」を導入。

○毎年度、生産工程に合わせた研修会や現場指導を実施し、単収が向上。
 R2～R5年度、県単独事業等により選別機等を導入し、生産体制を強化。



研修会の開催

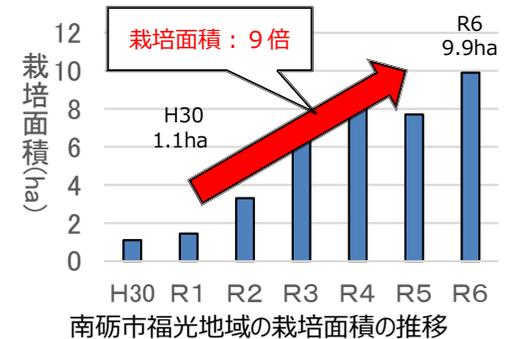


排水路の整備

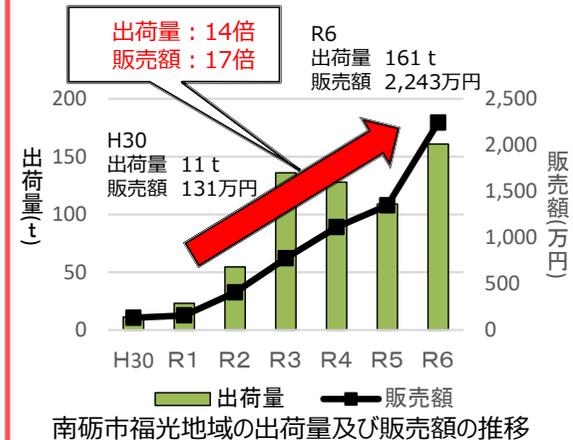
事業の効果

にんじんの栽培面積、販売額が増加

○栽培面積の増加



○出荷量・販売額の増加



○栽培者の育成



栽培研修会等の実施

○選別機の導入



生産体制の強化

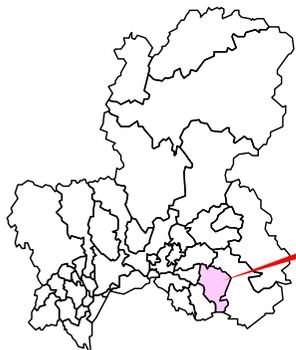
【地域の現状・課題】

- 高齢化・人口減少により後継者不足が深刻（基幹的農業従事者の65歳以上が占める割合：85%（令和2年））
- 農産物等直売所「きなあた瑞浪」の開店から13年が経過し、農家の所得向上のためには直売所の魅力を高める必要がある
- 一部地域では、不整形で小區画な未整備の水田が多く、効率的な営農に支障
- 高齢化の進行を見据え、生産基盤を整備するとともに、担い手の確保、地域の取組体制の強化が必要
- 深刻な鳥獣被害への対策強化が必要

【地域の位置】

【岐阜県東濃地域】（瑞浪市）

[指定地域：特定農山村]



瑞浪市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

農産物等直売所利用拡大のためのコンサルティングの実施

- 「きなあた瑞浪」のコンサルティングを実施し、直売所を活用した農家の所得向上と中山間地域の活性化を推進

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

高収益作物への転換と地元農畜産物の加工・販売

- 高収益作物への転換を可能とするため、担い手農家への集積を推進する地区を対象に区画整理や用排水路整備などの基盤整備を実施【農山漁村地域整備交付金】
- 地元畜産物の加工品を製造・販売するため、処理加工施設・販売施設等を整備。魅力的な加工品販売を通じて、「きなあた瑞浪」の販売額、来場者数及び瑞浪市の交流人口の増加を図る取組を実施。【中山間地域所得向上支援対策】



【加工品の製造】



【加工施設の整備】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域の共同活動による農地の保全管理

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

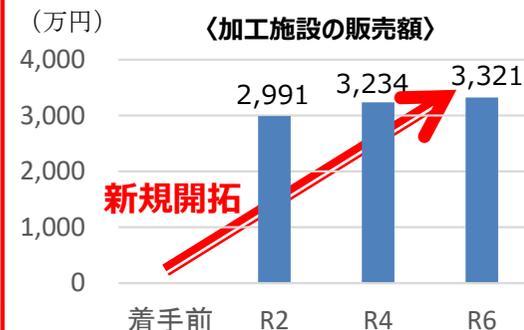


侵入防止柵の設置

事業の効果

瑞浪ポーノーク加工施設の販売額の増加

- 瑞浪ポーノークを使用したハム・ソーセージ等の加工品の開発による販売促進。
- 地産地消の更なる推進のため、バーベキュー施設を整備。直売所・加工施設と一体となって運用している。



【ハム・ソーセージの加工品】



【バーベキュー施設】

耕作放棄地を活用した漆栽培とヤギ・被覆植物による除草作業の軽減

にしみかわ おかざき
【愛知県西三河地域】(岡崎市)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 担い手・労働力不足、収益の減少などを理由に離農する農業者が増加している。
- 防護柵があるにも関わらず、耕作放棄されている農地及び草刈りが必要な傾斜地の畦畔は1.5ha以上ある。
- かつて三河漆の栽培地の一つであった岡崎市では、市内の民間事業者において、漆の木の栽培から漆（樹液）の採取を行い、文化財への利用や加工品への活用による商品化が計画されている。
- 文化庁は「国宝・重要文化財の修復等に国産漆を使用する方針」を打ち出しているが、国内の漆消費量年間60tのうち、国内生産量は1.8t(H30)と僅か3%しかない現状であることから、今後、国内での漆の調達が急務とされている。

【地域の位置】

ぬかた
【愛知県西三河地域】(岡崎市額田地区)

[指定地域： 特定農山村、振興山村、指定棚田]



岡崎市
額田地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

漆の産地化、ヤギの放牧やセンチピードグラスによる除草作業の軽減実証

【元気な地域創出モデル支援】

- 漆の植栽に際して、専門家から土壌改良や発芽率向上などの指導を受けた上で、技術指導の研修会を開催し、発芽技術・栽培技術の確立を図った。
- ヤギを飼育する体制ができ、ヤギの放牧により除草作業の軽減を図った。
- 維持管理の省力化のため、畦畔にセンチピードグラスの吹付を実施した。



発芽技術・栽培技術の確立



ヤギを飼育し放牧



センチピードグラスが定着した畦畔

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

地域内の他の場所で事業実証成果を波及

- 地域内の他の耕作放棄地において土壌調査を実施し、育苗した漆の苗を植栽している。漆の活用技術について、調査・研究を継続中。
- ヤギの飼育体制を確立させ、地域内の他の農地へ派遣する取組を実施。



育苗した漆の苗を植栽

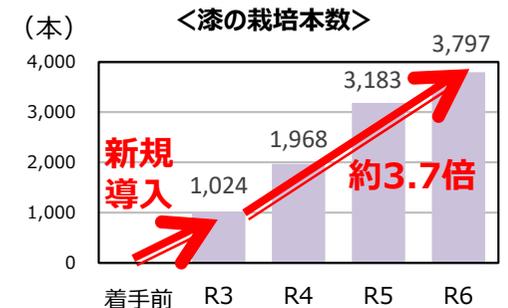


ヤギを他の農地へも派遣

事業の効果

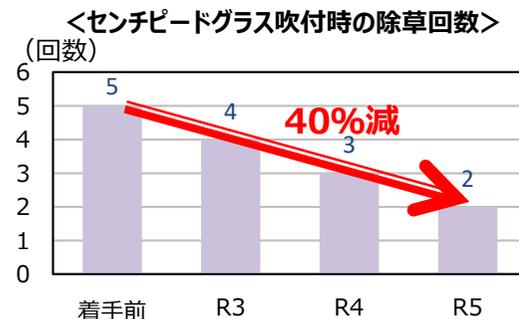
栽培技術の確立により栽培本数増加

- 実証事例について、実際に取り組んだ手順等を事例として取りまとめ、市ホームページに掲載して情報を発信。
- 漆の植栽に際して、技術指導研修会を開催し、発芽技術・栽培技術の確立を図った。ブランド化に向けて植栽を進め、R6には約3.7倍の3,797本を栽培。今後は植栽木の維持管理を行いながら、植栽面積の増加を予定。



被膜が進むことにより除草作業が軽減

- ランナーの被覆が進むことで、除草回数が40%減少。



高野山精進野菜の生産基盤確立及びブランド化や販路拡大により 所得向上を目指す

いと
【和歌山県伊都地域】 (橋本市)

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値化
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

【地域の現状・課題】

- 後継者不足と耕作放棄地の増加
 - ・ 高齢化・後継者不足による担い手の減少
 - ・ 農地の荒廃が進み、耕作放棄地が増加
- 特産品の育成及び連作障害対策
 - ・ ブランド農産物の不在
 - ・ 連作障害等による生産が不安定
 - ・ 安定した生産体制の整備
- 鶏糞や食品系廃棄物の処理
 - ・ 養鶏業が盛んな地域
 - ・ 鶏糞の堆肥化等の対策が必要
 - ・ 剪定枝や規格外の果実、柿加工に伴う残渣、菌床の処理残渣等の未利用資源の活用不足

【地域の位置】

【和歌山県伊都地域】(橋本市)

[指定地域： 半島、特定農山村、指定棚田地域]

橋本市



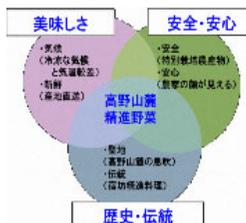
木喰応其上人の開いたまち

中山間地農業ルネッサンス推進事業

高野山麓精進野菜の生産性の向上及び販路拡大

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 「高野山麓精進野菜」の3つのコンセプト
「歴史・伝統」「安全・安心」「美味しさ」を備えた野菜作りの普及促進
具体的には、生産力向上のための土壌改良方法の検証、土壌改良資材の開発
ブランド化や販路拡大等についての検証



【元気な地域創出モデル支援】

- 土作り専門家の協力により、菌床の処理残渣等を活用した土壌改良資材の開発と、栽培実証のためのほ場を整備
- 「高野山麓精進野菜」を活用した加工品の開発
- 「高野山麓精進野菜」の栽培技術の向上のための栽培マニュアルを作成

事業完了後の展開

事業実証の成果を活用した取組

生産者の確保・土作りにより「高野山麓精進野菜」をブランド農産物へ

- 栽培マニュアルを活用した実践的な研修による生産者の確保
- 鶏糞、マッシュルーム菌床、柿の加工品残渣等の未利用資源を原料とした土壌改良資材の開発と、実証ほ場での継続した取組による生産性の向上



新規参加者・登録農家向け栽培研修会



実証ほ場の現地視察



栽培基準書の随時見直し

事業の効果

ブランド化による販売促進と生産者の確保

- ブランド化と加工品開発による販売促進

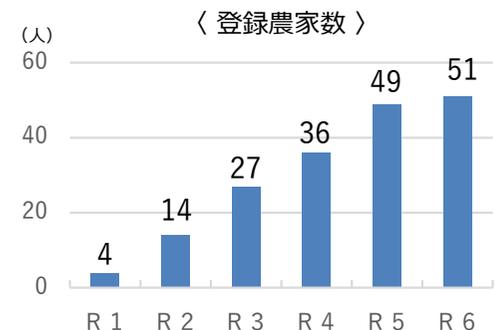


(左) 高野山麓精進野菜の販売ブース
(右) ふるさと納税の返礼品として登録された無農薬ゴマ豆腐「極」

- 野菜等の農産物の販売金額の増加



- 生産基盤の確立と研修等の実施による生産者の増加



野菜の導入を見据えた基盤整備による経営の高度化

おのみち せらちよう
【広島県尾道地域】（世羅町）

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値化
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T 技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

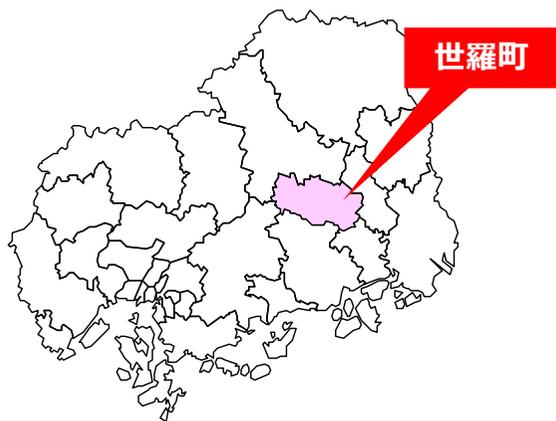
【地域の現状・課題】

- 高齢化に伴う担い手不足の解消やコスト低減のため、集落営農の法人化を進めてきたが、後継者の育成や水稲に替わる園芸作物の導入等が課題。
- 地域の所得を向上させ、円滑な経営継承のために、基盤整備をベースとした経営の高度化が必要。
- 鳥獣被害防止対策は継続的に実施しているが、被害の増加により、生産意欲の低下を招いており、取組の強化が必要。

【地域の位置】

【広島県尾道地域】（世羅町）

【指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎】



世羅町

中山間地農業ルネッサンス推進事業

集落営農法人の経営高度化のための取組

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 町内の集落営農法人等の生産者間で情報を共有することで、強みを生かし、弱みを補完できる環境を整備するための研修会等を実施

<取組概要>

- ・集落営農法人と園芸作物の生産者による経営高度化のための研修会等
- ・機械利用の効率化など、集落営農法人の新たな連携の仕組みづくりを進めるための研修会
- ・有識者を交えた今後の集落営農のあり方についての講習会及びワークショップを開催



集落営農法人向け経営研修会

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

野菜の導入を見据えた基盤整備の実施

- 高収益作物である野菜の導入を見据えた区画整理、暗渠排水などの基盤整備を実施（基盤整備後、キャベツ、アスパラガス、白ねぎなどの作付を検討）

【農業農村整備関係事業（農地耕作条件改善事業 等）】

【 今後は、円滑な経営継承を促しつつ、さらなる生産性の向上、6次産業化による収益性の向上を促し、園芸産地をリードできる農業経営体となるよう経営規模の拡大、経営の高度化を推進。 】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域を下支えする取組による生産意欲の維持・向上

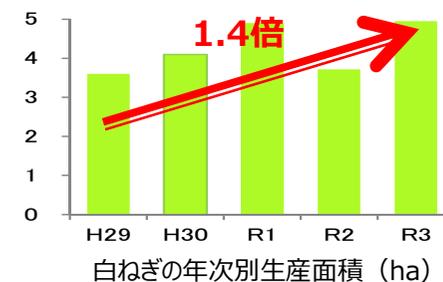
- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

集落営農法人の経営高度化と法人間連携が進展

- 研修会の実施等により、白ねぎの産地化が促進
- 農地耕作条件改善事業の活用により、西大田地区で野菜の導入を念頭に暗渠排水工事を実施



- 小国地区で、4法人による法人間連携組織である「おくにフィールド」が平成31年3月に設立
- ドローンによる共同防除や、鶏糞を活用した地域資源循環米の生産を実施
- 令和4年度末に設立された「世羅町循環型農業推進協議会」へも参画し、学校給食センターへ米の納入を開始



ドローンによる共同防除

主力品目の生産条件の改善による付加価値化及び担い手確保による所得向上の実現

ちくごなんとうぶ やめし
【福岡県筑後南東部地域】（八女市）

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値化
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

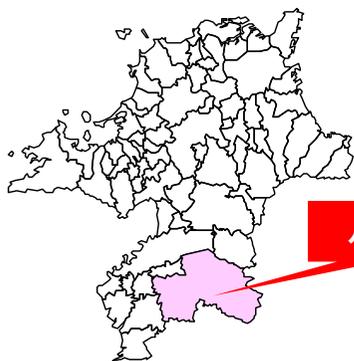
【地域の現状・課題】

- 八女市はお茶、電照菊、いちご・冬春ナス・冬春トマト等の施設野菜、柑橘・キウイフルーツ等の果樹等の生産が盛ん
- 高齢化・人口減少により農業従事者及び担い手不足が課題
担い手（販売農家における経営者）
平均年齢64.5歳（H28）
65歳以上が占める割合：51%（H28）
- 地区の主力品目である温州みかんは、生産効率及び品質向上を図るため、生産条件の改善が必要
- 経営の安定化のため、法人化の推進が必要
- 高齢化等の進行により、集落が連携した鳥獣被害対策の強化等が必要

【地域の位置】

福岡県筑後南東部地域 八女市

（指定地域：過疎、振興山村、特定農山村）



八女市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

集落説明会及び各集落にて実施検討

- 中山間地域における生産条件の改善に向け、各集落での検討会・各種施策に関する説明会を実施
〈取組概要〉
6月に、237集落を対象に、鳥獣被害防止対策等の中山間地域の振興に関する事項について、説明会を5回実施

取組を具現化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

中山間地域園地整備による生産性向上

- 農地造成と併せ農道、排水路、かんがい施設を整備（22.7ha）
- 園地整備の結果、機械化による労働力の削減、生産性の向上、安定した用水源を確保

【農山漁村地域整備交付金（中山間地域総合整備型）】



園地整備



糖度を上げるマルチドリップ栽培

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域集落活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の強化など、地域を下支えする取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金】



関係者による草刈り作業

事業の効果

ブランド化による農業所得の向上

- マルチドリップ栽培により、生産された高糖度みかんを「華たちばな」として、ブランド化



華たちばなみかん

- ブランド化による付加価値の向上で、市場の販売単価が上昇。地区の農業所得を押し上げることに成功。
- 鳥獣被害対策を効果的に組み合わせることで、出荷量及び販売額が増加し、農業者の所得向上が図られている。



※ J A 福岡八女資料及び八女市資料から算出

【地域の現状・課題】

- 平野部、中山間地域で、それぞれの特色を活かした営農が展開されているが、農業者の高齢化が進行
- 一部地域では小区画、不整形、排水不良のほ場があり、集積・集約化及び経営規模の拡大の障害となっている
- 水田の畑地化によるブランド作物の産地拡大を目指している（大豆、白ねぎ、ぶどう等）
- イノシシやシカ等の鳥獣被害額は、減少傾向にあるものの依然として高水準となっており、被害対策が急務となっている

【地域の位置】

大分県 北部地域

【指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

新規担い手確保の検討及び推進

【中山間地農業ルネッサンス推進事業】

- 新規担い手の確保のため、農業団体等を対象とした説明会の開催
- 所得向上や担い手の定着に向けた活動や体制整備等を実施

基盤整備との連携

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

農地整備や集積・集約化し、多様な担い手の確保・育成を推進

- 農業集落法人等の担い手への農地の集積・集約化と生産コストの削減に向けた基盤整備や、水田の畑地化・汎用化による園芸品目の産地拡大、多様な担い手の確保・育成を推進

【農山漁村地域整備交付金 等】



パイプラインの整備



水田の汎用化

- ・排水不良を改善し、水田の畑地化・汎用化を推進
- ・水路（パイプライン等）の整備により維持管理を省力化し、生産コストを削減

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

農地整備や集積・集約化し、多様な担い手の確保・育成を推進

- 侵入防止柵の管理、耕作道や周辺林地の草刈り等を共同で行い、鳥獣害防止対策の取組を強化
- 水路や農道等の地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金、鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】



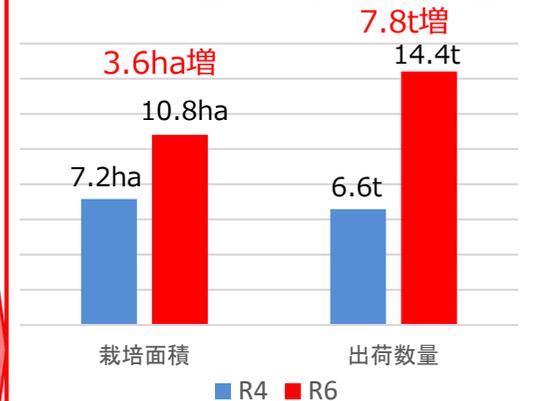
侵入防止柵の維持管理

事業の効果

水田の畑地化・汎用化による園芸品目の産地拡大

- 水田の畑地化・汎用化に、高収益なクロダマル（枝豆）の園芸品目の導入を推進し、産地を拡大

<クロダマル（枝豆）の栽培面積と出荷数量>



生産者数：R4 10名 → R6 19名

- 産地拡大を推進するクロダマル（枝豆）

